



前作『ことわざの生態学』から25年。  
森林雑学者が語り下ろす日本の森林、生態学、林業、教育。  
そして地球環境の諸問題。  
「今ならきっとまだ間に合う、と、私は信じています。」

# 只木良也 著

# 続 ことわざの生態学

——森・人・環境考

2024年1月 丸善出版 発行 定価 2,860円 (税込)

地球温暖化に代表される環境破壊の現実には直面してもなお、人間は自然をコントロールできるものだと思ひ込み、文明とは開発によって森林を破壊し都市化するものだと錯覚しているように思います。だからこそ今、故事ことわざを通して自然に親しみ、その叡智を学んで、環境について考えてほしい。本書がその一助になってほしいと願っています。

(まえがきより)



好評発売中

